

へばだば

72

編集・発行/自立生活センターPingあおもり 地域活動支援センタースタジオとまと 特定非営利活動法人ピアネット
038-0011 青森市篠田1-8-1 エムズコーポ101/tel.017-761-2745/fax.017-761-2746/e-mail.ping@ping-aomori.jp
http://www.ping-aomori.jp/ping_page/index.htm 発行責任者/佐藤 広則

「へばだば」= 津軽弁で、「じゃあね」というような意味。

国土交通大臣にバリアフリーの要望をしてきました

白戸駿平

4月24日、僕がDP | 日本会議の中で所属しているバリアフリー部会のメーリングリストに「斉藤国土交通大臣へ要望する機会が5月8日に決まり、希望する方がいれば連絡を下さい」と部会長の佐藤さんから流れてきました。僕は「行ってみたい!」と思い参加に手を挙げました。様々な調整と準備を経て、当日を迎えました。

当日は自宅の最寄りである青森駅までタクシーで行き、青森駅から電車で新青森駅に向かい、新青森駅から8時37分発の東北新幹線に乗り東京駅へ向かいました。東京駅で地下鉄丸ノ内線に乗り、国土交通省の最寄り駅である霞ヶ関駅で下車しました。

霞ヶ関駅からヘルパーさんの休憩のために日比谷公園に向かっていった所、副部会長の工藤さんと出会いました。ヘルパーさんの休憩が終わった後、国土交通省が入っている建物の真裏にある総務省の建物に向かい、工藤さんと合流した後に総務省の建物から国土交通省に向かいました。

総務省の玄関は吹き抜けになっており、立派な建物になっていました。田舎者としてどこに何があるかも分からず見えるもの全てに圧倒されている状態でしたが、工藤さんの先導で何とか国土交通省の入り口に総務省側から入ることができました。

どこも国の役所は同じかもしれませんが、もの凄くエレベーターの数が多いと感じました。応接室のあるフロアに着いたところ、佐藤部会長とCILほにゃらの斉藤さんが、エレベーターホールで待っていてくれました。この4人と山本ひろし参議院議員

(公明党)で斉藤大臣に面会をすることになりましたが、実は斉藤さんと工藤さんと僕は3人とも青森県出身という共通点があり、佐藤さんも新潟出身なので結果的に4人は雪国出身という共通点もあり、なぜか今回の要望は青森県出身者・雪国出身が占めてしまいました。

斉藤大臣が来るまでの待ち時間は、青森県トークで盛り上がりました。応接室の窓からは国会議事堂が見え、皇居や憲政記念館が眼下に見えていました。僕は日本の中心に来ているのだなと思い、窓の外に見える景色に驚いていました。

斉藤鉄夫国土交通大臣が姿を現した途端、いつもニュースで見る人が目の前にいる!と思いました。要望書を手交し、一人ひとり要望事項についての体験談や経験談を話すことになり僕も話させて貰いましたが、斉藤大臣は人の意見をきちんと聞いてくれる優しい方だなと思いました。

とても貴重な体験となり、今後のバリアフリー活動に活かしていきたいと強く思う日になりました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



左から白戸・工藤 DPI 副部長・斉藤大臣
佐藤 DPI 部長・ほにゃら斉藤さん・山本議員

72
号
も
く
じ

国土交通大臣にバリアフリーの要望をしてきました	1	「しんまちふれあい広場」が4年ぶりに開催されました	3
『THREE』のトイレにベッドが付きまして	2	「西滝」さんが「三内宇沢部」さんになって丸2年	4
久々のねぶた見物2023	2	わが家のペットコーナー	4
青森県立保健大学で講話してきました	3	編集後記	4

「THREE」のトイレにベッドが付きまして 白戸駿平

2023年4月25日、青森市中心部の新町地域において建設中だった複合商業施設「THREE」が開業しました。

この商業施設が存在する新町地域一帯には古いビルも多く存在し、あまり建築物のバリアフリー化が進められていない一帯です。そこに新たに建設される複合商業施設には期待しかありませんでした。

2021年2月より建物のバリアフリー化を実現して頂けるようにメールで1年半近く交渉を重ねてきました。

その中で最も長く交渉させて買ったのは、3カ所あるバリアフリースペースでした。事業者様に対し「どこか1カ所でも良いのでバリアフリースペース内に大人用介護ベッド（収納式多目的シート）を設置すること」を強く求めてきまし

た。事業者の担当者の方からは物価高騰や建築費高騰の影響で厳しいといった回答があり、事情も事情なので諦めかけていました。



ところが、オープン直後に行ってみたところ当センターが要望していたベッドの設置が1カ所のトイレで実現されていました。

こちらの要望を実現して頂いた事業者様、本当にありがとうございました。

久々のねぶた見物2023 柿崎長潤

8月5日(土)、五所川原の立佞武多を見物してきました。

生で立佞武多を見るのは高校生の時以来で約15年ぶりでした。

急に見に行くことになったので駐車場の予約はしていなかったんですが、エルムで夕食を食べ、ダメもとで市役所横の橋の近くに車で行ってみると、ドラッグストアの有料駐車場にとめることができました。

夜7時前に橋の見物席に行ってみると、お客さんが少なく予想していたより空いていて、ゆっくり坂の中腹に座れました。

五所川原の立佞武多はとても背が高いので歩道からだとは見上げないといけなく見えづらくて首が痛くなるので、市役所横の橋から見るのをオススメします。橋からだとは坂になっているので車いすの方だと綺麗に見えると思います。



青森のねぶた



五所川原の立佞武多

翌日の6日(日)に青森のねぶたを見物してきました。駐車場は許可をいただいてスタジオとまとの前に車をとめることができました。ありがとうございます。夜7時過ぎころにさくら野の近くに行ってみたのですが、夜運行の最終日だったので観光客の方がたくさんいてあまりよく見ることができませんでした。

でもコロナが収束し、青森に観光客の方々が戻ってきてとても嬉しいですね。

機会があれば来年もまた見に行きたいです。

青森県立保健大学で講話してきました

白戸駿平

6月1日、障害当事者の1人として青森県立保健大学に行き、当事者の一人暮らしの生活の様子について少し話をしてきました。

これはいつも通っている病院の先生から「保健大学より年に数回の講義依頼が病院にあり、私は難病や脳血管疾患等についての医療を学生に講義する形となっています。

そこで白戸君に提案があります。私の講義の合間に白戸君の一人暮らしの生活の様子について脳血管疾患当事者の生の意見を学生に聞かせてあげたいと思っているのですが、やってもらえますか？」

と提案を受けました。先生からの依頼を快諾させて貰い、先生から保健大学に話を付けていただき、先生と何度もオンラインで綿密な話し合いをし、プレゼンの資料を作成して当日に備えました。

先生との相談の結果、90分の講義時間の前半部分を先生が行い、後半部分を僕が学生さんに話すことになりました。

まずは、予定通り

先生が筋ジストロフィーの障害や麻疹になるとどうなるのか等について専門用語を用いながら前半部分を使って講義を行いました。

そして僕の番になりました。必修講義だったようで、理学療法学科と看護学科の3年の学生さんに僕の実生活の様子を、写真を使いながら説明をしました。

今回は学生さん向けといった形で障害福祉サービスの内容についても少し触れ、一人暮らしするまでに大変だったことや準備した事についても話しました。

聞いて頂いた学生さんの中で、少しでも障害の分野に興味を持たれる方が増えれば良いなと僕としては思っています。

障害者の生活の場が、病院や施設だけではなく在宅の場でもサー

ビスがあれば生活できるのだといった認識が何かの役に立つのであれば僕としては本望ですし、後々それが学生の皆さんの何かの経験に繋がれば良いのかなと思っています。



8月27日(日)「2023・しんまちふれあい広場」が4年ぶりに開催されました。

きびしい暑さの中でのイベントとなり、途中ゲリラ豪雨にも見舞われましたが、消防パレード、よさこい、ねぶた囃子など様々な演目、体験・PRコーナーなどで新町商店街は終日にぎわっていました。



とまとで出店したフリーマーケットも暑さと雨で客足が心配でしたが、まずまずの売り上げでした！

よかった！

お手伝いいただいた蒔苗さん青木さんありがとうございました。(松)





「西滝」さんが「三内宇沢部」さんになって丸2年

三内宇沢部さんは難病筋ジストロフィーで一人暮らし歴22年。

その後の三内宇沢部さんは？ 佐藤が聞きました。



佐藤 三内宇沢部さん、お久しぶりです。元気そうですね。

沢部 まあまあです。暑くて暑くて食欲がなかったのですが、少し涼しくなったので食べられるようになりました。今日の昼はウナ丼を食べました。

佐藤 引っ越して2年になりますね。

沢部 最初の冬が豪雪で、屋根の雪おろしを業者に頼んだんですが、雪が一気に落ちて隣家の煙突を壊してしまい、業者が弁償しました。住んでいる家も雪の重みで屋根が一部壊れましたが、大家さんが保険で直しました。去年は雪がそんなでもなくて良かったです。

佐藤 屋根の雪おろしてどのくらいかかるの？

沢部 8万円くらいかな？これは自分が負担しました。青森市から少し助成金が出ました。

佐藤 風呂はどうしてますか？

沢部 シャワーチェアで何とか。ヘルパー2人でやってもらってます。

佐藤 24時間介助体制になったそうですね。いつからですか？

沢部 引っ越しした年の暮に肺炎で入院しました。退院してパルスオキシメーターを寝る時つけることになったりして、24時間人手が必要になり、青森市も認めてくれていつも誰かがいる生活になりました。夜中に呼吸器とかの警告音がなっても自分は熟睡してるみたいで気が付かないけど、ヘルパーが対応してくれるので安心して寝てます(笑)・・・続く

わが家のペットコーナー

わが家のペット君

第一回目は佐藤広則宅の「ねじれ猫ぼぼ(雄2才)」です！
ねじれ具合をお楽しみください！

(写真加工：三内宇沢部さん)



足元猫



背中猫



※「わが家のペット」募集中！
写真にコメントを添えてお寄せください。

編集後記

- 滅多に30℃を越えない青森で、30℃どころか35℃連発、、、エアコンだけではあまり冷えず、サーキュレーター、アイスノン、総出でしのいでいます。(三内宇沢部)
- 事務所内は「強」冷がいい人と、「微」冷がいい人が混在しています。電気代がやばいのでそこはひとつ、、、(経理担当)
- 「千里の道も一歩から」バリアフリー化は、これに尽きる(sss)
- わが家の猫が、誰にでも寄っていくのに、なぜか私にだけ近づかない。いじめたことないのにア、、、(広)
- 先日、痛風らしきものになってしまいました(苦笑)まだ31歳なのに本当ショックです、、、これから少し食生活気をつけます。(柿)
- 「とまと」で飼っているウーパールーパーを、お盆休みから預かっています。涼しくなったら(10月ごろ?)帰します。(松)

